

**問** 海外研修生受け入れ事業委託の内容説明を

**答** 平成十四年度から実施している事業で、期間は原則一年間です。船主同盟会が中心となって漁協に委託して事業を行っています。

**問** 商工会補助金が計上されているが、今後の観光協会の運営の方向付けは

**答** 一本化を計る方向で検討している。暫定的に一年間は市長に協会長をお願いし、事務所をなぶら館の中に置く。七月二日、五日に行われる双方の総会の中で協議していただくことになっている。

## 文教厚生委員会

**問** 福祉タクシーについて説明を

**答** 混乱をしないように現状の

ままです。スタートするが、今後は一人二枚使用できるように検討していきたい。また、福祉循環バスの運行も検討している。

**問** 学童保育について、第一小学校に集中するのではなく、各小学校でも要望は強く、市民も期待しているので期限を切り計画性をもって進めるべきではないか

**答** 全体的にバランスをとり検討していきたい。建物は空き教室を利用していきたい。

**問** 学童保育行政の窓口は、保育にあたる指導員の対応は

**答** 行政窓口は、社会福祉課に一本化し、指導員については申請する児童数によるが、最低一カ所で二名必要のため申請者の把握に努めたい。児童数に応じた指導者数の決まりは特にな



**問** 中東遠看護専門学校組合に、三千百万円の負担金を出しているが、この学校より市立御前崎病院への看護師採用の状況は

**答** 平成十三年度は四人、十四年度は六人、十五年度は三人の就職実績があり、今年度も引き続き募集して看護師の確保に努めていく。



**問** 幼保一元化で計画を立て一貫性を持って取り組むべきでは

**答** 今まで二年間で結論は出ていない状況だが、地区により異なることのないように統一した方法で方針を決めて早急に進めていきたい。

**問** 消防団の編成について適正な人員で、適正な配備をすべきと思うが市の考えは

**答** 平成十九年度を用途に減員を考えているが、歴史的経緯もあるもので、消防団と共に考えていきたい。

**問** 国民健康保険特別会計では、保険税の徴収状況は

**答** 五月末現在で御前崎で二百八十四世帯、旧浜岡関係で二百二十九世帯で、未納額は合計で二億二千万円余です。

**問** 下水道事業特別会計の関係では、加入率向上の努力をしているか

**答** 現在の加入率は五十七パーセントで職員が説明会等行っている。本年度は教育委員会と連携して、児童の下水処理施設の見学会を実施して、公共下水の理解を深めていただき、家庭における親子の話し合いを通じて意識の向上を図れるよう計画している。

